

幸福な家庭（鲁迅作品日文版）PDF转换可能丢失图片或格式，建议阅读原文

https://www.100test.com/kao_ti2020/245/2021_2022__E5_B9_B8_E7_A6_8F_E3_81_AA_E5_c105_245729.htm 「……するもしないも全く自分の手だが、作品というからには、と石とカチ合って出来た火花のようなものでは目だ。あの太の光のように限の光源の中からき出して来たようなものが、これこそ真の芸だ。その作者こそ初めて真の芸家だ。そうして乃公（おれ）は……それしきのことが何だ……」彼はそこまで考えると、いきなりベッドから跳起（はねお）きた。彼はずっと前から、原稿料で生活をして行（ゆ）きたいと考えていたが、投稿するなら、まず幸福日社が好かろうと（き）めていた。そこは比的に稿料を余に（く）れるからだ。しかし、作品には一定のがあるから、そのを越えれば没になる恐れがある。もだが……代の青年のにある大は？ なかなか少くなさそうだ。いやどっさりあるかもしれない。恋、婚、家庭などと来ては。……そうだ、この点についてはたしかに多くの人がかんでいて、ちょうど今いろいろ中である。では家庭をいってみよう。それはそうとどんなにこうかな……そうしなければ没になる恐れがあるし、わざわざに背く必要もない。それはそうと……彼はベッドから跳上（はねあが）ると、五六んでテブルの前に行（ゆ）き、の原稿用を一枚取ると、ぶっつけに、やや自（やけ）味にもなって、次のようなをいた。「幸福な家庭」だが、彼のはたちどころにった。彼は仰向になって眼を屋根に（みは）りながら、「幸福の家庭」の置を考えてみた。「北京は？

目だ。全く沈み切ってしまっても空までも死んでいる。よしんば家庭のまわりを高が、ぐるりとんでいるにもせよ、まさか空を遮断することは出来まい。つまり目だ！ 江浙江（こうそせっこう）は日争の防をしているし、福建（ふくけん）と来たらなおさら盛んだ。四川（しせん）、（カントン）は？ ちょうど今争の真最中だし、山（さんとう）、河南（かなん）の方は？ おお土匪（どひ）が人を浚（さら）ってゆく。もし人に取られたら、幸福な家庭はすぐに不幸な家庭になってしまう。そうかといって上海（シャンハイ）、天津（てんしん）の租界へ置けば家が高い。じゃ外国へ置くとしたらいい笑いだ。南（うんなん）、州（きしゅう）は交通があまりに不便で、どんなだか解らん……」彼は思いめぐらしてみたが、当の所を思い出せない。そこでA（エ）と定した。「今でもアルファベットで人名地名をきわすと、者の味を少するという者が少くはない。今度の俺の投稿では、これを用いない方が安全だ。それでは、どこがいいだろうかな？ 湖南（こなん）も争だ。大（たいれん）はやはり家が高い。察哈（チチハル）、吉林（きちりん）、江（こくりゅうこう）は——、が出るというし、こいつもいけない！……」そこで、いくら考えてみても格にこれといった所もないので、「幸福な家庭」の所在はAということに定した。「つまり、この幸福の家庭がAに在ると（き）めればはない。家庭にはもちろん一の夫があつて、とりもなおさず、それが主人と主で、自由婚だ。彼等は四十何条かの非常にな、だからめて平等な、十分に自由な条を（ていけつ）している。それに高等な教育と、高尚に

して美な……しかし日本の留学生はもう流行らない。——
そんならりに西洋の留学生としておこ。主人はいつも洋
服を著（き）て、ハドカラはいつも雪のように真白。夫人
はの毛に（こて）をかけ、雀ののようなモヤモヤの中から
雪白のを露（あら）わしているが、著物は支那服で……」
「目々々、そいつは目だ！二十五斤だよ！」の外で男の声
がえたので、彼は思わずを横にしてみたが、カテンは垂れ
ているし、日の光は射しんで目が眩むばかり。いて木ッ端
をバラ撒くようながした。「俺にはのい事だ」と思ってみ
たが「何が二十五斤なのだろう？」と考えた。「——彼等
は美高尚で、文芸を深くする。けれどもも幸福に生して来た
人だから、ロシヤの小は好まない……と云うのは、下等な
人が描かれることが多いからで、こうした家庭には不向な
のだ。オヤ『二十五斤』だって？のいことだ。それでは、
彼等はどんな本をむのだろうか？——バイロンのか？それ
ともキツのか？どうもぴったりと来ないな。あ、有ったぞ
。彼等は『理想の良人（おっと）』をするだろう。俺はまだ
だんではいないが、既に大学の教授が称（しょうさん）し
ているというくらいなら、彼等もきっとして、どこの家庭
にも一つずつえてあるにいない……」彼は胃袋が虚空（か
らっぽ）になったのを感じた。を置いて、手でを支えると
、自分のはまるで二つの柱に立てかけた地球のようであつ
た。「彼等二人は、ちょうどお中食（ちゅうじき）をして
いるにいない……」と彼は思った。「[# 「」は底本で
は欠落] テブルの上には真白な布が敷かれて、コックがお
菜（さい）をんで来る。たぶん支那料理だろう。「二十五

斤」なんてことは、彼等とのない事だ。しかし、なぜ支那料理にするのだろうか？西洋人は知っている。支那料理は最もしたものである。最も美味で、かつ生的であると。彼等が支那料理をやるのはそのためだ。さて、一番初めにんで来たのは何だろうか？……」「薪ですよ……」彼は吃（びっくり）してふり返ってみると、左の肩に添うて自分の家（うち）の主が眼（りょうがん）を彼のに物凄くづけして立っている。「何だ？」また自分の作が邪魔されるのかと思ってすこぶる腹が立つ。「薪を使い切ってしまいましたから、今日ちっとばかりったんですが。前には十斤で吊四（リャンテウス）だったのに、今日は吊六（リャンテウリョウ）だということです。私は吊五（リャンテウウ）でもやればいいと思いますがいいいでしょうか？」「よし、よし。吊五（リャンテウウ）でも」「とても秤（はかり）を魔化（ごまか）すんですよ。薪屋はどうしても二十四斤半というのだけれど、私は二十三斤半で勘定してやればいいと思います。どうでしょうかね？」「よし、よし。二十三斤半ってやれ」「それなら、五五の二十五、三五の十五……」「ウムウム——。五五の二十五、三五の十五……」彼もまたそれから先きが言えなくなっってちょっとまごついたが、たちまち起となつてをり、一行ばかりきかけた「幸福の家庭」の原稿用の上に数字をき始め、しばらく勘定してからやっつとをげて云った。「五吊八（ウテウパ）だ！」彼はテブルの引き出しから有りったけの元を攫み出し、それは二十より少ないものを、げている妻の掌（て）の上に置き、妻が出て行（ゆ）くのをて、ようやく机に向つたが、

彼のの中は薪っぱの事で一杯だった。五五の二十五と、まだの中は刺比（アラビア）数字で混乱していた。彼は深く息を吸って、力く吐き出してみた。これでの中から薪っぱと五五の二十五と、刺比（アラビア）数字の幻影を追い出そうと思ったのだ。果して、息を吐いてから持も（すくな）からずなくなった。そこでまた恍惚として思いをせるのであった——「どんな御走だろうな。珍奇な物でも差支えない。豚の口スの葛や粉海老の海參（いりこ）じゃあんまり平凡だ。乃公は是非とも彼等の食い物を『虎（りゅうことう）』にしたい。しかし『虎』とは一体どんな物かね？ある人はこれは蛇と猫を用い、（カントン）の重な料理で大きな宴会でなければ使わないと言ったが、わたしはかつて江（こうそ）の屋の献立表でこれをたことがある。江人は蛇や猫なんかは食うはずがないからたぶん、蛙とのことを指したのであろう。一体、この主人公と夫人は、どこの土地の人に（き）めたんだっけな？——そんな事は彼等にはがない。どこの国の人であろうが蛇や猫、あるいは蛙やを一杯くらい食ったって、幸福な家庭をつけるものではない。で、つまりだ、最初の一碗は『虎』としておいてもして差支えない。そこで『虎』がテブルの中央に置かれて、彼等は箸を著け、互いにを合せてニッコとしながら『My dear please.』 『Please you eat first, my dear.』 『Oh no! please you!』と来るかな。そこで彼等は同に箸を著け、同に一（いっかい）の蛇肉を抓（つま）む。——いやいや。どうも蛇肉ではグロだ。やっぱりという方がいい。そんならこの『虎』は蛙とで作ったものということになるので、彼等は同に一

のを挟む。大きさは皆同じで五五の二十五と、三五の……こいつはいけない。そして、同に口に入れる……」彼はそのうち我慢し切れなくなって振向いてみようかと思った。というのはたちまち背後が非常に々しくなり、人が二三往ったり来たりするのだが、それでもよく持ちこたえてざわめきの中で思いを接(つな)いでいる。 100Test 下载频道开通，各类考试题目直接下载。详细请访问 www.100test.com